

第3回支部執行委員会議事録（平成29年度第2回）

JCI 四国支部

1. 日 時 平成30年2月8日（木）15時00分～16時40分
2. 場 所 香川県生コンクリート工業組合 2F 会議室
3. 出席者 支部長：松島学 副支部長：甲斐芳郎（本部理事兼務）
幹事：石村典久（代理：福原力）、上田隆雄、氏家勲、加藤邦寛、島弘
橋本親典、藤井禎、古田満広、横井克則
執行委員：朝倉光司、熊沢敬輔、佐藤義昭、中川裕之、林和彦、深澤裕紀
福山裕史、細川高志、吉田秀典、吉田幸稔
検査役：堀井克章
本部理事：
研究委員会報告者：尾寄秀典 計 23 名
4. 配付資料
資料1 第2回支部執行委員会議事録（案） p1, 2
資料2 平成29年度活動状況および今後の予定 p3～9
資料3 平成29年度収支決算（案）、平成30年度収支予算（案） p10～13
資料4 平成30年度事業計画（案） p14～17
資料5 支部幹事の異動届、平成30年度支部執行部（案） p18, 19
資料6 第4回支部幹部会議事録（案） p20～22
資料7 支部規程、支部執行部候補者推薦委員会規程 p23～27
資料8 【別冊】参考資料（平成29年度事業報告および平成30年度事業計画付属資料）

5. 審議事項

松島支部長より支部執行委員会開催に当たり挨拶があり、その後、各議題について審議が行われた。審議結果は、以下のとおり。

（1）第2回支部執行委員会議事録の確認（資料1）

第2回支部執行委員会議事録(案)が確認され、支部HPに掲載することが承認された。

（2）平成29年度事業報告および今後の予定について（資料2, 8）

これまで実施した事業内容および3月末までの事業活動予定について事務局より説明がなされ、一部修正し承認された。主な報告内容および審議結果等は以下のとおり。

- ・ 「四国の生コン技術力活性化委員会【第3期】」の活動について、委員会の古田幹事長より報告がなされた。主な内容は以下のとおり。

平成29年度は委員会を2回開催し、計5編の研究成果を年次大会2018（神戸）へ投

稿した。また、成果報告会を2月22日に「生コンセミナー in 香川」の一部として開催する予定である。成果報告書の番号は「S-14」とした。

- ・ 「次世代のコンクリート構造物の劣化診断に関する特別研究委員会」の活動について、委員会の橋本委員長より報告がなされた。主な内容は以下のとおり。
現在、成果報告を整理中であり、6月に報告会を開催する予定である。また、島幹事より本委員会は若手研究者の特別委員会であり、JCI 論文集に投稿するなど四国支部の活発な活動として内外に公表することが望ましいとの意見が出され、その方向で対応することが確認された。さらに、成果報告書の番号が「S-15」であることを併せて確認した。
- ・ 「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」の活動について、委員会の尾寄幹事長より報告がなされた。主な内容は以下のとおり。
12月に委員会を開催し、平成29年度モデル活動校の徳島県立徳島科学技術高等学校のテーマが「炭コンクリートの特性調査」であること、平成30年度モデル活動校として高知工業高等専門学校を推薦したこと、平成31年度は愛媛県内の高校とすること、次回の委員会を平成30年12月1日に開催することなどが確認または決議された。また、第11回コンクリート甲子園の結果が報告された。
- ・ 「四国におけるインフラ維持管理新技術研究委員会」の活動について、委員会の林委員より報告がなされた。
- ・ 新刊コンクリートライブラリー148号「コンクリート構造物における品質を確保した生産性向上に関する提案」に関する四国地区講習会の参加者数を90名から92名に訂正する。
- ・ 以下の講習会・現場見学会について各担当者より開催報告があった。
「四国のコンクリート構造物インフラドックの実現に向けた調査研究委員会」報告会、第8回コンクリート技術研修会、「鉄筋コンクリート造柱梁接合部の基本的理論 講演会」および「鉄筋コンクリート造部材の付着割裂破壊の基本理念 講演会」、「コンクリート構造物の品質・耐久性確保マネジメント研究小委員会成果報告会〈高松会場〉および四国における品質確保に関するシンポジウム」、現場見学会（椋川ダム）

(3) 平成29年度収支決算案について（資料3）

12月までの確定決算および3月までの見込み決算について事務局より説明がなされ、次期繰越金が40万余であることが確認された。

(4) 平成30年度事業計画案および収支予算案について（資料3, 4, 8）

事務局より平成30年度事業計画案および収支予算案の概要について説明がなされた。また、研究委員会、講習会および現場見学会の詳細については担当委員より説明がなされ、承認された。主な承認事項等は以下のとおり。

- ・ 研究委員会 5 件（常設 1 件，継続 1 件，新規 3 件）が承認された。
 - ①「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」【常設】
委員長：松島学（香川大学）・・・四国支部長が担当
 - ②「四国におけるインフラ維持管理新技術研究委員会」【継続】
委員長：全邦釘（愛媛大学）
 - ③「四国の生コン技術力活性化委員会【第 4 期】」【新規】
委員長：島弘（高知工科大学）
 - ④「コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会」【新規】
委員長：橋本親典（徳島大学大学院）
本委員会は日本鋳業協会からの委託研究に近い研究委員会と考えられるので，できれば日本鋳業協会からの援助を受け運営してはとの意見が出され，橋本委員長が対応を検討することになった。
 - ⑤「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会」【新規】
委員長：林和彦（香川高等専門学校）
予算は，①が 25 万円，②～⑤が 20 万円の計 105 万円とする。また，新規委員会である③～⑤についてはコンクリート工学誌 5 月号で委員を公募する。
- ・ 講演会・講習会 7 件が承認された。また，島幹事より第 9 回コンクリート技術研修会は，高知県コンクリート診断士会設立 10 周年事業として 9 月 28 日（金）に高知工科大学で開催されることが報告された。
- ・ 現場見学会は，国土交通省四国地方整備局直轄工事である高知南国道案が承認された。

（5）平成 30 年度四国支部執行部について（資料 5）

所属している会社の人事異動に伴い支部幹事の異動について下記のとおり承認され，本部へ報告することになった。

西日本高速道路(株)四国支社 石村典久 ⇒ 福原力

また，各委員に任期後の執行部継続の是非について確認した結果，平成 30 年度支部執行部および検査役（案）が承認された。主な承認事項は以下のとおり。

- ・ 支部長，副支部長は交代なし。
- ・ 検査役は堀井先生がさらに 1 期 2 年間担当する。
- ・ 本部理事の交代：甲斐芳郎 ⇒ 島弘（支部幹事は兼務しない）
- ・ 島幹事の本部理事就任に伴い支部幹事を 1 名欠員とし 8 名とする。
- ・ 支部執行委員の交代を以下のとおり確認した。

竹内良和 ⇒ 中村康一

以上

（記録者：古田 満広）